

2014年度「日本女性学習財団賞」受賞レポート集

学びがひらく

男女共同参画社会実現のために社会・地域・家庭の中でさまざまな困難や課題を乗り越えてきた過程をふり返った実践・研究レポートを広く募集し、優秀レポートを表彰する「日本女性学習財団賞」。2014年度全受賞レポートとその講評を収録しました。

男女共同参画社会実現を願って活動するあなたへのエールとして、応募をお考えのあなたには貴重な参考資料として、ぜひご活用ください！

- 大賞：酒井かな子
自営業者の「嫁」から「社会福祉士」へ
「自己覚知」を深めて—自己肯定感を取り戻すまで
- 奨励賞：石山亜紀子
世間と自分の「枠」を越える
—夫婦別姓を目指した母のもとで—
- 選考委員特別賞：大橋志帆
公務員の使命とは何か
—私が「地域に飛び出す公務員」となるまでの軌跡
- 選考委員特別賞：寺松みどり
性はグラデーション
～わたしたちのせい（性・生）を考える～
- 選考委員特別賞：渡辺美恵
問題を見逃さず、話しあって、家庭も地域も男尊女尊に



◆定価：(本体 953 円 + 税)

◆B5 判 82 ページ

◆お申込み・お問合せは下記財団まで
電話・FAX・e-mail・郵送・FAX ください。
(裏面申込書もご利用ください。)

■お申し込み・お問い合わせ

公益財団法人

日本女性学習財団

■〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 5 階
■TEL : 03-3434-7575 ■FAX : 03-3434-8082
■HP: <http://www.jawe2011.jp> ■E-mail: jawe@nifty.com

2014年度「日本女性学習財団賞」受賞レポート

◆大賞◆

酒井かな子（東京都）

自営業者の「嫁」から「社会福祉士」へ 「自己覚知」を深めて－自己肯定感を取り戻すまで

夫からのドメスティック・バイオレンスに遭いながらも、夫の実家で家族従業員として働き、事業改革をめざして通信制の福祉系大学で学ぶ。その途次で離婚を選択し、現在はソーシャルワーカーとして知的障がい者と無農薬野菜作りをする筆者。自身の歩みを大学で学んだ「自己覚知」の方法でふり返り、ソーシャルワークの視点で分析・対象化を試みる。その中で見えてきたジェンダーバイアスや女性の貧困、「女性格差」など、自助努力では解決できない問題があることを指摘する。学習と生活（活動）とが見事に結びついたレポート。

◆奨励賞◆

石山亜紀子（東京都）

世間と自分の「枠」を越える －夫婦別姓を目指した母のもとで－

夫婦別姓を目指した母が招いた幼い頃の両親の離婚。その痛みを越え、自らも選択的夫婦別姓法制化を含む男女平等を実現しようと思いついた。世間や自分の「枠」から解放されることで生きづらさがなくなり視野が広がっていく。その一方、夫婦別姓反対派女性の研究や女性相談・暴力防止啓発事業などを通じ、実は自身も「女性」を分断していたことに気づく。DVも夫婦別姓問題も、その根は、婚姻という男性による女性支配構造など、女性たちを分断させる男性中心社会にあると考察を深めていく。

◇選考委員特別賞◇

大橋志帆（群馬県）

公務員の使命とは何か－私が「地域に飛び出す公務員」となるまでの軌跡

働きたいと願う人が一人でも多く働ける社会の実現をめざし、公務員が地域の中に飛び出すまで。

寺松みどり（岐阜県）

性はグラデーション～わたしたちのせい（性・生）を考える～

自分も人も大切に作る心こそ「人権」「男女共同参画社会」の始まり。『せい（性・生）』を通して「人権」「男女共同参画社会」をみつめ直す。

渡辺美恵（東京都）

問題を見逃さず、話しあって、家庭も地域も男尊女尊に

「嫁」という立場に苦しむ筆者が女性問題学習をきっかけに、夫や義母との関係に変化を生む。NPO 法人を設立。様々な課題解決に取り組む半生。

お申込書

必要事項をご記入の上、FAX、電話、メール、郵送でお申込ください。HP からもお申込いただけます。お知り合いにもご紹介ください。

ふりがな		ご職業／所属グループ
お名前	*団体・機関の場合、名称・部署名などをご記入ください。	
お届け先	〒	
TEL	FAX	E-mail